

これからのPTAの姿 模索



約5000人が参加した第68回日本PTA九州ブロック研究大会佐賀大会=SAGAアリーナ



九P佐賀大会に5000人

日本PTA九州ブロック研究大会佐賀大会が10月28、29の両日、佐賀市のSAGAアリーナを主会場に県内7会場で開催されました。九州各地からPTA会員ら約5千人が集い、分科会での研究討議や講演、シンポジウムなどを通して、これからのPTA活動の在り方について見識を深めました。

(溝口和則 副編集委員長、瀬戸健太郎 編集委員長)

県内では11年ぶりの開催です。オープニングアトラクションでは、佐賀学園高校吹奏楽部がマーチングを披露し、来場者を魅了。会場から大きな拍手がわき起こりました。

開会式典では、九州ブロックPTA協議会の江田明弘会長が「PTAは保護者と教師が学ぶ場所というのが本質。学んだことを地域で生かすことで結果的に子どもたちの為にな

る。これからこの国を支えていくのは子どもたち。皆さんの日々の活動が子どもたちの自立に向けた一歩につながると信じて活動を続けてほしい」とあいさつ。佐賀県教育委員会の甲斐



表彰を受ける受賞者

佐賀県の受賞者一覧(敬称略)

- 団体表彰**
 - 佐賀市川副ブロックPTA
 - 小城市立三里小学校育友会
 - 唐津市立七山小学校育友会
 - 伊万里市立黒川小学校育友会
 - 多久市立東原舎東部PTA
 - 武雄市立山内中学校PTA
 - 個人表彰**
 - 糸山新一郎 (みやき町立中原小学校PTA)
 - 緒方哲哉 (唐津市立外町小学校PTA)
 - 上戸良太 (太良町立大浦小学校PTA)
 - 筒井慎子 (有田町立西有田中学校PTA)
 - 感謝状表彰**
 - 佐伯美由紀 (佐賀県PTA連合会副会長)
- きらりと輝く九州人大賞
九州ブロック協議会会長賞
岡本忠裕 (武雄市立朝日小学校 育友会推薦)
- 個人表彰や感謝状を受けた佐賀県の受賞者

大会宣言、決議を採択

直美教育長が「PTAの皆さんにはいつもたくさんの支援を頂いている。これからも力を合わせていきたい」と祝辞を述べました。佐賀県の山口祥義知事のビデオメッセージも上映されました。



表彰式では、PTA活動に功績があった37団体54個人が表彰されたほか、九P協役員などを務めた10個人に感謝状が贈られました。また今大会から新設された賞で、学校を中心とした地

域環境の発展に貢献した人に贈る「きらりと輝く九州人大賞」では、大賞に祝町小(北九州市)でスクールヘルパーを担う星隈寛人さん、九州ブロック協議会会長賞にこどもの居場所づくりなどに尽力する「あさひこども園(武雄市)の岡本忠裕さんら2人がそれぞれ選ばれました。

大会宣言では、「家庭・学校・地域がより強く、より深化し、一体的となったPTA活動の創造、実現に努める」「すべての子どもたちが

等しく教育を受けられ、健康的で安全な学校生活を送られるように教育環境づくりを努める」などとした決議が採択されました。続いて記念講演が開かれ、タニタ食堂が注目を集めたタニタの谷田千里社長が「社会のためになるAボタンのタニタの姿勢と考え方」の演題で講演。さまざまな社内改革に挑戦した経験を紹介し、「今やらないといけないし、時代に適応しないといけない。一人一人がご自身の生き方を見

せることが教育につながる」などと呼び掛けました。講演後はスペシャルゲストのはなわさんが「佐賀県など3曲を披露し、来場者を楽しませました。

次回開催地の長崎県へ大会旗を引き継ぐ江田明弘九州ブロックPTA協議会長(左)

35年の信頼と実績

丸田塾 maruta

13名全員が教職現場での経験豊富な正社員講師です

小2~高3 目標に応じた各コース

全教科指導 部活や習い事との両立もできます

英検・漢検・数検 の受験もできます

オンライン英会話

2023年 中学受験 合格実績

致遠館中 中学受験に 実績あり!

26名

附属中 7名

冬期講習生募集

お問い合わせは各教室まで!

- ◆兵庫本部教室 ◆佐賀駅前教室
- ◆城北教室 ◆大和教室
- ◆新栄教室 ◆鳥栖教室
- ◆小城三日月教室

丸田塾 HP

子育て応援メッセージ

ともに学び! ともに成長!

- ♥ つながろう!
- ♥ 育もう!
- ♥ 受けとめよう!
- ♥ 伝えよう!
- ♥ 見守ろう!
- ♥ 話し合おう!

市郡連会長に聞く

県内に13ある市・郡・地区PTAの会長を順番に紹介します。それぞれの地区の自慢や課題、今後の展望について語ってもらいます。

第18回

多久市 野中 加恵子会長



のなか・かえこ

出身単Pは東原岸会中央校。専門学生の長女、高校1年の次女、小学3年の三女の母として、日々子育てと多久市教育委員会での仕事に動き回る多久市初の女性会長。単P執行部、市P母親部長、市P副会長の経験を持ち、昨年より市P会長。10月の日本PTA九州ブロック研究大会佐賀大会では第2分科会の副運営責任者を務めた。

まずは参画、仲間づくりに

◆多久市PTA連合会の好きなのは？
東原岸会中央校・東部校・西浜校からなる多久市PTA連合会は事務局長をはじめ、役員みんなが元気で明るいのので、楽しく活動できるところが好きです。市Pの行事への参加も多く、会議もスムーズに進みます。

◆子育てを含めた家庭内での役割は？
多久市教育委員会です仕事をしていますが、家に帰れば3姉妹のお母さんです。子どもたちの年齢が離れていることもあり性格も考え方もそれぞれですが、自分が気付いた事、できることで助けてもらうことが多々あり助かっています。

◆子どもと行けるおいしいお店を教えてください。
多久でおすすめのお店は「ウッディライフ」です。最初は移動販売からスタートし、北多久町に店舗を構えられました。タピオカやかき氷、パニーニ、ランチボックスなど様々なメニューがありますが、その中でも私が大好きでおすすめするのは唐揚げです。ここの唐揚げを知ってからは家で唐揚げは揚げていません(笑)。子どもたちも大好きで食べたくなったらすぐ買いに行っちゃいます(笑)。暑い夏には大きなかき氷もおすすめです。

◆次世代の役員さんへ伝えたいことは？
私も分からない事だらけでPTA役員を始めました。大変だとは思わず、まずはできることからでいいので、PTA活動に参画する事で仲間が増えます。子どもたちとの会話も増えていきます。単P、市P、県Pとたくさんの役員、会員の方と接することで輪が広がると思います。子どもたちの未来のため健やかな成長のために保護者も一緒に頑張りましょう！

(聞き手・陣内さおり 編集委員)

分科会レポート

全体会に先立ち、第1～第5分科会と特別分科会が10月28日、佐賀市など県内5市で開催されました。それぞれの分科会の内容を紹介します。



第5分科会
テーマ
広報・地域連携
鹿島市民文化ホール

手づくり広報誌で交流

「広報地域連携」をテーマにした第5分科会では鹿島市民文化ホールで開催しました。PTAと地域が連携協働しながら活動することや、PTAの本来の役割を探りました。
研究討議Ⅰでは、熊本県玉名市立滑石小学校の入学式でPTA会長が「子育て」地域の宝「滑石つ子」の演題で提言しました。入江会長は滑石地区にある玉名市公民館滑石支館の副支館長をPTA会長が担っていることを、地域連携の一つの例として紹介。地域まちづくり委員会やボランティア団体と定期的に会議を開催することや「学校・家庭・地域」が一体となり、年間通していろいろな活動ができていたこと、PTAと地域が連携協働しながら活動することや、PTAの本来の役割を探りました。

PT「L」A的な組織を提案



特別分科会
テーマ
そもそもPTAとは
佐賀市文化会館 大ホール

佐賀市文化会館大ホールで開催された特別分科会では、「そもそもPTAとは」というテーマに基調講演とシンポジウムが行われました。
基調講演では、大分県津久井市にある鷹島屋神社司宮の矢野大和氏が「家庭のW.A.学校のW.A.地域のW.A.」の演題で講演。自身の家庭環境や地元住人のエピソードを紹介しながら、家庭内での「肯定的な会話」の重要性や子供と高齢者が相互利益をもたらす「地域の教育力」についてユーモアを交えて語り続けました。
続いて開かれたシンポジウムでは、西九州短期大学の牛丸和久教授をコーディネーターに迎え、「今こそ見つけた、今こそ見つけた、今こそ見つけた」と題して活発な討議が繰り広げられました。基調講演講師の

(牛丸和久 編集委員)



第1分科会
テーマ
組織・運営
鳥栖市民文化会館

家庭、学校、地域の連携必要

鳥栖市民文化会館で開かれた第1分科会では、「組織・運営」をテーマに、来場者約900人が今後のPTA活動の在り方を探りました。
研究討議Ⅰでは、長崎県島原市立大東小学校PTAの谷川誠一会長が「心豊かでふるさとを愛する、大東三つ子」の演題で話しました。学校や家庭、地域との情報共有を深めながら連携し、郷土料理づくりや朝の読み語り、朝のあいさつ運動など多様な活動に取り組んでいることを紹介。「大東三つ子」のよりよい成長を、含み言葉に家庭、学校、地域の連携、協働を通して、その実現を目指すPTA活動を全員で展開して、いきないうちを込めました。
研究討議Ⅱでは、福岡市立若久特別支援学校中野PTAの立木春香会長が「地域社会(故郷)との掛け橋となり共に生きるために」の演題で提言。同校PTA活動の基盤を学びがあり、人と人とのつながりを感じられる活動を紹介し、今後の課題として生徒が居住する地域の一般の学校とのつながりの深化などを挙げました。会場からは、特別支援学級の保護者にPTAに参加してもらおう働きかけはどうすればいいか、「コロナ禍で地域との交流が縮小したが、再開へ向けた課題は」などの質問が出されました。

(瀬戸健太郎 編集委員)

唐津市文化体育館で開かれた第3分科会では、人権教育について討議が行われました。研究討議では、鹿児島県出水市立大川小学校と、大分県杵築市立山香中学校がそれぞれの取り組みを発表しました。
研究討議Ⅰでは、大川内小学校PTAの徳留貴幸会長が「地域住民にPTA準会員として入会してもらおう」として人と人が関わる機会を増やし、子どもたちの人権意識の醸成につなげていく実践を紹介しました。

第3分科会
テーマ
人権教育
唐津市文化体育館

個々を尊重しつつ叱る教育

研究討議Ⅱでは、杵築市PTA連合会の工藤慎一会長が「人権教育講演会や職業講話や進路講話などを聞くことで人権感覚を養い、人権に対する知的理解を深めている事例を示しました。質疑応答では、会場の参加者が子どもを尊重することや褒めることは大賛成でしたが、今の子どもは道徳的にしてはいけないことが分かっていない子どもが多すぎるように感じる。危ないことや、他人にけがをさせてしまうかもしれないこと、迷惑をかけるかもしれないこと、指摘から嫌いな子が多い」と指摘されました。

(宮崎美穂 編集委員)

武雄市文化会館で開催された第4分科会では、地域・行政・PTAがいがいに連携し、教育環境をつくり上げていくかの道筋を模索しました。
研究討議Ⅰでは、福岡県行橋市立泉小学校PTAの藤原健太郎会長が「保護者・教師・行政みんなで作り上げる学校の現実の演題で、行橋市のオリジナリティあふれた教育環境向上のための実践について報告。子どもたちを中心に地域、保護者、先生が一緒に楽しめるイベントや、様々な要望を教育委員会へつなぐ教育委員会と語る会は、来場者の興味を引き、質問が多く飛び交いました。藤原会長は「PTA活動を全力で楽しみたい子どもに見せたい」と、良

第4分科会
テーマ
教育環境
武雄市文化会館

教育環境整える道筋模索

い連鎖で未来につなげたい。」と呼び掛けました。
研究討議Ⅱでは北九州市PTA協議会の小松博幸副会長ら4人が「格差をなくす連携の演題のもと対話式で提言。コロナ禍を受け、つながりの再構築と教育環境の平等化を図るために開いた子どもたちとのリモート会議や子どもフェスタの開催など、市P協ならでは、大がかりな取り組みを紹介しました。指導助言者を務めた北九州市立小森江小学校の松中保明校長は「子どもたちの声を聞く、つなぐ、関わる、広がる」との重要性を強調し、会場からは共感の声が上がりました。

(藤丸重也 編集委員)

佐賀市文化会館中ホールで開催された第2分科会では、「家庭教育・立ち向かう心と支える取り組み」をテーマに討議が繰り広げられました。
研究討議Ⅰでは、宮崎県小林市立細野小学校PTAの山下健一事業部長が「家庭と学校、地域をつなぐPTA活動」と題し取り組みを発表しました。山下部長は、校内に地元とのまちづくり協議会の事務局があり、PTAが連携して活動していることを紹介。月に一度地域住民と児童が一緒に歩いて登校するふれあい「交流」を行っており、登校が10年以上も続いているとしました。山下部長は「家庭と学校、地域をつな

第2分科会
テーマ
家庭教育
佐賀市文化会館 中ホール

地域とのつながり大切に

ぎ協力して楽しみな活動を続けていきたい」と語りかけました。
研究討議Ⅱでは、熊本県熊本市立下益城南中学校PTAの米原祐司会長が「PTAを「親社会」として、保護者と先生、地域が一体となって子どもと関わっている取り組みを紹介しました。取り組みは共に学び共に楽しむとともに笑顔で輝こうとスローガンに掲げており、米原さんは「さまざまな「共育」につながっている」と成果を挙げました。また、コロナ禍で多くの経験の場が失われたとして「PTAも子どもたちの今を精いっぱい支えていく」と力を込めました。

(陣内さおり 編集委員)

佐賀新聞 電子版

毎朝5時に更新

スマホでも読みやすい!

過去の記事や人事も簡単検索

プレゼントや試写会の応募も!

追加料金なし!!

新聞購読 + 電子版 3,350円 (月額/税込)

▶販売店集金、自動振替、クレジットカード決済

電子版のみ 3,350円 (月額/税込)

▶クレジットカード決済のみ

登録はサイトから 佐賀新聞 検索

【問い合わせ】 佐賀新聞社メディア局コンテンツ部 ☎0952(28)2162

会員限定のコンテンツ満載! 長押しでテキスト表示に

2024年を 卒煙の年に! 6ヶ月後の卒煙で健康に ノンスモ NON-SMOKING LIFE



子育て・親育ち うちの家訓

子育てのヒントになるような、それぞれの「家訓」を紹介します。

井手口家の家訓

友達の大っき肌で感じて

井手口辰視(御船が丘小P)

友達がいなくても大丈夫だと思われ方もこの世の中にはいらつやいます。いろんな考え方もあるかと思いますが、我が家では「友達をたくさんつくりなさい、大切にしなさい」と普段から言っていることが、家訓・教えとなっているのかなと思います。

なぜ友達なのかというと、私自身が少年野球から高校野球までを経験し、たくさんの友人や先輩・後輩ができて、人とのつながりがいかに大切かということを感じてきたからです。だからこそ、子どもたちにも必ず伝えていきたいですし、大きくなってその意味を肌で感じることができるよう成長してくれて、自然と周りに人が寄ってくるような人生を送ってほしいと思います。

西山家の家訓

一緒に成長していく為に

西山嘉克(吉田小中P)

我が家は大人3人と子ども6人の9人家族で、私も含めて賑やかでくせ者ぞろいの家族です。この家族で「今日も良かったね」と言いながら一緒に成長していく為に大事にしている家訓が「親しき仲にこそ礼儀あり」です。

家族である前に、親子である前に、人と人です。ひとりひとり個性が違って感性が違います。

そして、昨日の自分たちと今日の自分たちはどこか違います。だから「決めつけ」をせず、今日のあなたをちゃんと知り、今日の私をちゃんと伝えていくという関わり合いを毎日大切にしています。「この家族で本当に良かった」と心から笑い合っているのは、この家訓のおかげだと実感しています。

父親日記

佐賀新聞社の教育担当記者がつづる、教育や子育てをテーマにしたコラムです

vol.13 二つの地元

仕事を終えて佐賀市内の自宅に帰ると、遠くから鉦の音が響いてきた。近くの神社の秋祭りを控えていた。5の娘は何事も参加意欲はある方だが、浮立は希望しなかった。

本番の11月3日は唐津くんとち重なっている。「くんちに行けなくなる」と選ばなかった。父の地元が唐津で、娘が幼稚園児だった3年間唐津支社に勤務した。娘は唐津神社近くの幼稚園に通い、11月中はくんちのまね事をして遊んでいた。年長の時にはくんち当日の朝、本物の曳山を少しだけ曳かせてもらい、父には忘れられない時間になった。

娘の選択は、父と同じものを好きでいてくれてうれしい反面、娘にとっての「地元」を考えさせられ、複雑な気持ちになった。結局、11月3日は仕事で佐賀から離れられず、浮立と一緒に見に出かけた。初めて見る同級生らの愛らしい装束に、娘は多少ときめいたようだった。唐津くんちは翌日の最終日に楽しんだ。

来年はどうするか。答えを急かす父に「どうしていま決めなきゃいけないの。娘の心も揺れているのかもしれない。子どもが通う学校と、親が通った学校が同じ親子って、いいなと思う。」

(佐賀新聞社 宮崎勝)

いいね！ 単位PTA通信

唐津市の大良小学校は山に囲まれた自然豊かな地形にある学校です。全校生徒は32人と少ないですが、みんな仲が良く、地域の方の見守りや支えのおかげで元気がいっぱい過ごしています。

今回紹介したいのは、自分で作る和紙の卒業証書についてです。大良小学校では、3年生から6年生の総合的な学習の取り組みの一つとして、自分で作った和紙を卒業証書として受け取ることが伝統行事として受け継がれています。この和紙が完成に至るまでおよそ3カ月かかりますが、子どもたちは一つ一つの工程を手作業で行います。今年も和紙の原料となる楮の木を地域の方や先生方と山で切り出し終えて、紙を作る作業に入っています。

卒業証書を自分の手で

唐津地区PTA連合会母親代表(大良小) 橋本 裕子



の皮の外皮を削ぐ作業です。その作業で緑色の皮が混ざると白くて綺麗な和紙にならないからです。その後、削いだ楮を再度煮て学校近くの川で洗い、数日間川に漬けて皮を叩き細かく切り、紙を一人ひとりの漉いて乾かします。完成した和紙は卒業式で思い出のつまったところにもない自分だけの卒業証書となり、それを手に子どもたちは巣立ちます。

今、大良小学校も統合に向けて準備を進めています。子どもたちには、これからも物事の始めから終わりまでやり通すことを大切に、地域の方や先生方の力を借りながら元気な学びを続けてもらいたいです。

佐賀県PTA連合会推薦 小・中学生総合保障制度(こども総合保険)について

お子様の「ケガ」「育英費用」やお子様とご家族の「個人賠償責任」などに備えられます。

学校内はもちろん、放課後の遊戯中・クラブ活動中や休日のレジャー中の事故など様々なケガに備えられます。

他人にケガを負わせたり、他人のものを壊したりして法律上の損害賠償責任が生じた場合に備えられます。



この制度の詳細な内容はこちらからも確認いただけます。

『小・中学生総合保障制度』 <https://www.pta-corin.com/>



※保険商品の概要を説明したものです。詳細につきましては取扱代理店にお問い合わせください。

○制度に関するお問い合わせ先: 0120-228-553 佐賀県PTA連合会保障制度事務局(取扱代理店:株式会社コーリン) 受付時間:平日午前9時~午後5時(土・日・祝日、年末年始を除く。)

○制度引受保険会社: AIG損害保険株式会社 東京海上日動火災保険株式会社 損害保険ジャパン株式会社 Chubb損害保険株式会社

【令和5年度版:S-230450(2024-03)】